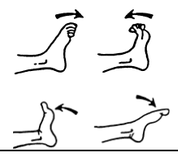
腰椎椎間板ヘルニア・腰部脊柱管狭窄症の手術を受ける＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様へ

福井赤十字病院　整形外科　　筋20　Ｎｏ.１

全身麻酔で腰部の手術を行います

ゴール目標　**創部に異常がなく、医師の許可があれば退院できます**

	手術前日	手術当日・手術前	手術当日・手術後	１日目	２日目
月日	／	／		／	／
目標				・リハビリを開始します	・トイレまで歩行できることを目指します
治療 検査	・全身麻酔の場合、麻酔科に受診します （ただし、休日の場合は別の日に診察します）	・手術前に弾性ストッキングを履きます ・手術が午後からの場合、回診時点滴をします 	・手術室で、腰の写真を撮ります ・手術後に血液検査をします  ・手術後の点滴は翌日まで続きます ・酸素吸入をします ・心電図のモニターをつけます	・血液検査をします  ・抗生剤の点滴を朝・昼・夕に行います ・コルセットを装着します ・痛み止めを服用します 	
処置	・コルセットの準備がない場合は、採寸し注文します		・血栓予防のため足の血流をよくする機器をつけます（翌朝まで） ・手術中に創部に管が入ることがあります	・必要時、ガーゼ交換をします	・創部の管を抜きます
安静度	・制限はありません		・ベッド上安静です（上向きの体位） 看護師の介助で横向きになれます	・コルセットをつけて自分で横向きになれます	・リハビリの状況に合わせてコルセットを装着し歩行ができます
食事	・麻酔科医師から食事と水分制限があります 食事（　　）まで出来ます 飲水（　　）まで出来ます	・食べたり飲んだりできません 		・腸の動きを確認して朝からお粥が出ます ・看護師がコルセットを装着し、ベッドを起こして食事が出来ます	・普通食がでます （医師の指示により治療食となる場合があります） 
排泄	・手術後の排泄について説明します	・早朝（朝６時ごろ）坐薬を使用します	・手術中に尿の管が入ります	・排便は紙オムツを使用します	
清潔	・入浴又はシャワー、洗髪・爪切りをします			・洗面・歯磨きの介助をします ・身体を拭きます 	
観察	・手術前の状態を観察します		・手術後の状態を観察します	・良い姿勢・下肢や足首の運動・体位について診ていきます ・１日３回、体温や血圧などを測定します	・歩行状態を診ていきます ・１日３回、体温や血圧などを測定します
教育 指導	・看護師が手術についてと手術後の生活について説明します ・必要物品の確認をします ・深部静脈血栓症について説明します ・薬剤師がお薬について説明します ・入院後に、入院診療計画書について説明します ・主治医が手術治療計画について説明します		・主治医より手術後の説明があります （手術中、家族は病院内に待機していてください）	・看護師と共にコルセットを装着します ・１人で横向きになる方法を看護師が説明します	・ベッドから起き上がり方と車椅子・歩行器の使い方の説明をします ・トイレの動作について説明します ・排便コントロールについて考えましょう
リハビリ	・リハビリ室にて運動機能を調べます ・コルセットがあればコルセットを使用し、コルセットの装着方法、起き上がり、体位の変え方、座り方の練習をします		・足の運動を下図のように始めましょう ＜足の指と足首の曲げ伸ばし＞ 	・状態をみながら起き上がり、座り方、体位の変え方、横向きになる方法の練習をします	・歩行練習を始めます
説明者					

手術や手術後（退院や転院の目処）についても説明します

※状態に応じて予定が変わることもあります。何か質問があれば看護師にお聞きください。

主治医（　　）　担当看護師（　　）

入院費は、ひと月ごとの【自己負担限度額】＋【食事負担額】＋【その他（個室料、診断書料など】合計です。
自己負担限度額の確認ができない場合は、本人の負担割合（1 割～3 割）での請求となります。
請求に関する問い合わせ先：病棟担当事務

	３日目	４～８日目	９日目	１０日目	１１、１２日目　～　退院
月日	／	／　～　／	／	／	／　～　／
目標	・病棟内を歩行できることを目指します	・リハビリをすすめて病院内を歩行でき、また、日常生活動作が安定して行えることを目指します			・傷が治り、医師の許可があれば退院 もしくは転院できます
治療 検査	・血液検査をします 	・腰のレントゲン写真をとります（７日目前後） ・血液検査をします（７日目前後） 		・抜糸をします	・抜糸後の創の状態を診ます ・血液検査をします（１１日目）  
処置	・管を抜いたところの診察をします				
安静度	・コルセットを装着しリハビリの状況に合わせて（歩行器、杖使用）歩行ができます				
食事	・普通食がです （医師の指示により治療食となる場合があります）				
排泄	・状態を見て尿の管を抜きます ・トイレで排泄できます				
清潔	・洗髪します（１回／週） ・身体を拭きます（２回／週）） 				・医師の許可があればシャワー浴が 出来ます 
観察	・良い姿勢・下肢や足首の運動・体位について観察します ・１日３回、体温や血圧などを測定します				
教育 指導	・排便コントロールについて考えましょう	・コルセットのつけ方と注意点について再度確認します ・院内歩行が安定すれば、弾性ストッキングは脱ぎます ・薬剤師がお薬について説明します 		**腰部脊柱管狭窄症の手術を受けられた方へ** 今後の日常生活を無理なく過ごせるよう、次のことに注意しましょう １、再診日以前に以下の症状があった場合や心配事がありましたら病院へ連絡または受診してください ① 何日も微熱が続いている ② 今までになかった強い痛みやしびれが出てきた ③ 今までになかった創部の腫れやじくつきがでてきた（感染兆候） ２、日常生活について ① 運転やスポーツについて・・・医師に確認して下さい ② コルセット装着期間について・・・医師の指示があるまでは着用してください （コルセットが合わなくなったら早めに補正しましょう。受診時に申し出て下さい）	
リハビリ	・患者さん個人に合わせた日常生活動作の練習をしていきます				
説明者					

病状等の説明や今後のこと
（退院や転院の目処やその準備など）について
ご本人・ご家族の方と話し合いをする日程を調整します